

第6章 調査間での共通質問

1 近所付き合い

①近所付き合いの程度，近所付き合いをしていない理由

【市民，高齢者】

近所付き合いは，どの程度していますか。（主なもの1つに○）

- 「家を行き来するなど，親しくしている」と「立ち話をする程度」を合わせた『親密な近所付き合いをしている』の割合は，市民 36.1%，高齢者 53.4%となっている。

図表_近所付き合いの程度（%）

		親家 しく 行く 来す るな ど、	立 ち 話 を す る 程 度	あ い さ つ を す る 程 度	な い 近 所 付 き 合 い を し て い 	無 回 答
市民	(N=815)	8.7	27.4	53.1	9.9	0.9
高齢者	(N=1203)	13.3	40.1	39.1	6.7	0.8

付問 「近所付き合いをしていない」と答えた人におたずねします。近所付き合いをしていない理由は何ですか。（いくつでも○）

- 近所付き合いをしていない理由は，市民，高齢者ともに「普段，付き合う機会がないから」が最も多く，市民は7割，高齢者は5割台となっている。

図表_近所付き合いをしていない理由（%）

		し く 仕 事 や 学 業 が な い か ら ※ 育 児 な ど で 忙	引 つ 越 し て き て 間 も な い か ら	普 段 、 付 き 合 う 機 会 が な い か ら	同 世 代 の 人 が 近 く に い な い か ら	い な い か ら 気 の 合 う 人 や 話 の 合 う 人 が 近 く に	あ ま り 関 わ り を も ち た く な い か ら	そ の 他	無 回 答
市民	(n=81)	18.5	2.5	70.4	13.6	18.5	29.6	6.2	4.9
高齢者	(n=80)	13.8	17.5	51.2	8.8	8.8	17.5	16.3	3.8

※高齢者アンケートの選択肢は「仕事や学業などで忙しく時間がないから」

2 共助意識, 地域活動

①手助けを「してほしい」事柄, 手助けを「できる・してもいい」事柄

【市民, 高齢者】

あなたは次の事柄について, 家族以外のまわりの人から手助けをしてほしいと思いますか。また, まわりの人に手助けできること(してもいいこと)はありますか。

①手助けしてほしいか, ②手助けできるかについて, それぞれ1つに○を付けてください。

- 家族以外のまわりの人から手助けを「してほしい」事柄について, また, 手助けを「できる・してもいい」事柄の上位は, 順位の違いはあるものの, 市民, 高齢者ともに『安否確認の声かけ』, 『災害時避難の手助け』, 『具合がよくない時に病院などに連絡する』となっている。

図表_手助けを「してほしい」の割合(%)

		安否確認の声かけ	出しちよつとした買い物やごみ	食事や掃除・洗濯の手伝い	通院の送迎や外出の手助け	子どもの預かり	話し相手や相談相手	災害時避難の手助け	具合がよくない時に病院などに連絡する
市民	(N=815)	51.0	13.6	8.5	15.8	16.0	28.1	70.2	51.9
高齢者	(N=1203)	41.0	14.0	7.6	13.3	4.0	23.9	56.9	40.1

図表_手助けを「できる・してもいい」の割合(%)

市民	(N=815)	76.9	44.2	16.4	26.4	22.5	48.7	76.9	72.1
高齢者	(N=1203)	59.9	37.6	14.3	19.0	13.1	40.4	51.1	52.9

②家族以外のまわりの人に手伝いや手助けをする（してもらう）ために必要な取組
【市民，高齢者】

家族以外のまわりの人に，手伝いや手助けをする（してもらう）に当たり，どのような取組があるとよいと思いますか。（いくつでも○）

- 家族以外のまわりの人に手伝いや手助けをする（してもらう）ために必要な取組は，市民，高齢者ともに「手助けしてほしい人と手助けできる人をコーディネート（紹介）する仕組み」が最も多く，「手助けしてほしい人や事柄を知ることのできる仕組み」が続いている。

図表_まわりの人に手伝いや手助けをする（してもらう）ために必要な取組（%）

	コーディネート（紹介）する仕組み	手助けしてほしい人や事柄を知ることのできる仕組み	手助けできる人の人柄やスキルを知ることのできる仕組み	その他	取組は必要ない（できる時はする）	わからない	無回答
市民 (N=815)	47.4	41.7	33.7	2.8	15.0	10.4	5.0
高齢者 (N=1203)	33.0	30.3	23.4	1.3	15.7	23.6	8.8

③地域活動・ボランティア活動の取組状況と今後の取組意向

【市民，高齢者】

市内では多くの地域活動・ボランティア活動が行われています。①あなたは、次のような活動に取り組んでいますか、②今後、次のような活動に取り組みたいです。か。（それぞれ1つに○）

- 地域活動・ボランティア活動で「取り組んでいる」活動をみると、市民は『趣味・習いごとなどの活動』が最も多く、『子育て世帯・青少年を支援する活動、子ども会やPTAの活動』が続いている。高齢者も『趣味・習いごとなどの活動』が最も多く、『自治会・地区協議会・老人クラブなどの活動』が続いている。
- 関心のある分野（取り組みたい、興味がある）について、市民，高齢者ともに『趣味・習いごとなどの活動』、『防災訓練や災害時に救援・支援をする活動』、『地域の環境美化，環境保全・自然保護などの活動』を上位に挙げている。

図表_地域活動・ボランティア活動の取組状況（％）

	子育て世帯・青少年を支援する活動、子ども会やPTAの活動※	高齢者を支援する活動	障害のある人を支援する活動	お祭りや運動会などのレクリエーション活動、地域の伝統や文化を伝える活動	交通安全や犯罪防止など、地域の安全を守る活動	防災訓練や災害時に救援・支援をする活動	地域の環境美化、環境保全・自然保護などの活動	自治会・地区協議会・老人クラブなどの活動	趣味・習いごとなどの活動
市民 (N=815)	11.5	3.9	3.4	8.6	6.1	6.1	6.6	10.1	19.9
高齢者 (N=1203)	2.4	3.6	2.6	6.7	3.1	4.7	6.3	14.0	22.4

図表_地域活動・ボランティア活動の今後の取組意向（％）

市民 (N=815)	15.1	21.2	19.8	24.0	22.5	35.6	31.0	13.3	38.9
高齢者 (N=1203)	9.2	14.5	11.1	14.9	17.5	23.2	24.4	16.0	32.3

※高齢者アンケートの選択肢は「子育て世帯・青少年を支援する活動」

【障害者（18歳以上），障害児保護者】

あなたは今後，地域活動・ボランティア活動に取り組みたいですか。（1つに○）

- 地域活動・ボランティア活動の取組意向は，身体障害（64歳以下），難病，障害児保護者は「機会があれば，取り組んでもよい」が最も多く，3割を超えている。
- 身体障害（65歳以上）は「取り組みたいが，できない」，知的障害と精神障害は「あまり取り組みたくない」が最も多くなっている。

図表_地域活動・ボランティア活動の取組意向（％）

		積極的に、取り組んでいきたい	できるだけ、取り組んでいきたい	機会があれば、取り組んでもよい	取り組みたいが、できない	あまり取り組みたくない	無回答
障害者 (18歳以上)	身体障害（64歳以下） (N=213)	1.9	12.2	33.8	16.0	30.0	6.1
	身体障害（65歳以上） (N=237)	1.3	9.7	24.9	29.5	24.1	10.5
	知的障害 (N=182)	2.7	8.2	27.5	17.6	39.0	4.9
	精神障害 (N=177)	0.6	8.5	30.5	16.9	38.4	5.1
	難病 (N=172)	2.9	8.1	39.5	19.2	23.3	7.0
障害児保護者 (N=130)	3.1	10.0	41.5	20.8	21.5	3.1	

④参加しやすい地域活動の種類

【市民，障害者（18歳以上），障害児保護者】

近年，さまざまな主体による地域活動が行われています。あなたが参加しやすい活動は何ですか。（いくつでも○）

- 参加しやすい地域活動の種類は，市民は「同じ趣味・志向をもつ人達の活動（趣味の同好会・教室・子育てサークルなど）」，障害児保護者は「同じ障害や病気の人達の活動（当事者団体・家族会，障害者施設や病院でのサークルなど）」が最も多くなっている。
- 身体障害（64歳以下），身体障害（65歳以上），知的障害，精神障害，難病は「わからない，関心がない」が最も多くなっている。

図表_参加しやすい地域活動の種類（％）

		1位	2位
市民	(N=815)	同じ趣味・志向をもつ人達の活動（45.8）	わからない，関心がない（30.8）
障害者 (18歳以上)	身体障害（64歳以下）	(N=213) わからない，関心がない（50.2）	同じ趣味・志向をもつ人達の活動（26.8）
	身体障害（65歳以上）	(N=237) わからない，関心がない（38.8）	同じ趣味・志向をもつ人達の活動（27.0）
	知的障害	(N=182) わからない，関心がない（46.7）	同じ障害や病気の人達の活動（30.2）
	精神障害	(N=177) わからない，関心がない（44.6）	同じ障害や病気の人達の活動（31.6）
	難病	(N=172) わからない，関心がない（42.4）	同じ趣味・志向をもつ人達の活動（33.7）
障害児保護者	(N=130)	同じ障害や病気の人達の活動（43.1）	わからない，関心がない（28.5）

⑤地域活動・ボランティア活動に参加しやすい条件

【市民，高齢者】

どのような条件であれば，地域活動・ボランティア活動に参加・活動しやすいですか。
(いくつでも○)

- 地域活動・ボランティア活動に参加しやすい条件は，市民，高齢者ともに「時間や期間にあまりしぼられない」が最も多く，「身近なところに活動できる場がある」が続いている。

図表 地域活動・ボランティア活動に参加しやすい条件 (%)

	子ども世話を代	活動や団体に関する情報を	友人・知人と一緒に参加できる	時間や期間にあまりしぼられない	身近なところに活動できる場がある	世話人やリーダーがいる	参加することでのメリットがある(報酬など)	活動資金の補助や援助がある	その他	わからない	条件によらず、参加したくない	無回答
市民 (N=815)	5.5	20.4	18.4	56.3	41.6	17.7	19.1	13.6	3.3	11.2	8.8	3.3
高齢者 (N=1203)	1.4	18.4	16.8	44.4	37.1	17.0	6.0	6.0	3.0	19.3	10.6	10.4

⑥地域活動・ボランティア活動の情報収集方法

【市民，高齢者】

地域活動・ボランティア活動の情報をどのような方法で探しますか。(いくつでも○)

- 地域活動・ボランティア活動の情報収集方法は，市民，高齢者ともに「市や社会福祉協議会の広報・ホームページ」が最も多く，「わからない，関心がない」，「友人・知人に聞く」が続いている。

図表 地域活動・ボランティア活動の情報収集方法 (%)

	市や社会福祉協議会の広報・ホームページ	図書館・公民館などにあるポスター	学校や職場にあるポスター	駅やお店にあるポスター	ボランティアなどの募集情報	活動団体や大会・イベントのホームページ	SNSを活用	友人・知人に聞く	その他	わからない、関心がない	無回答
市民 (N=815)	44.0	14.2	8.0	13.9	4.2	6.6	14.0	15.1	1.5	29.0	3.8
高齢者 (N=1203)	45.5	13.5	1.3	8.6	5.7	5.2	3.5	16.0	2.3	27.0	11.5

3 新型コロナウイルス感染症の流行による暮らしへの影響

【市民，高齢者，障害者（18歳以上），障害児保護者】

新型コロナウイルス感染症の流行により，あなたの暮らしにどのような影響がありましたか（影響があった時期は問いません）。（それぞれ1つに○）

「増えた」こと

- 新型コロナウイルス感染症の流行による暮らしにおいて，「増えた」ことをみると，市民は『興味や関心のあることに充てる時間』，高齢者は『自宅での趣味・学習・教養などに充てる時間』，身体障害（64歳以下），身体障害（65歳以上），精神障害，難病は『人と電話やラインなどで話す頻度』，知的障害と障害児保護者は『趣味や好きなことをする時間』が最も多くなっている。

図表_新型コロナウイルス感染症の流行による暮らしへの影響（%）

<「増えた」項目>

		1位	2位
市民	(N=815)	興味や関心のあることに充てる時間 (28.2)	人と電話やLINEなどで話す頻度 (22.5)
高齢者	(N=1203)	自宅での趣味・学習・教養などに充てる時間 (21.5)	家族との会話や連絡の頻度 (電話などを含む) (18.6)
障害者 (18歳以上)	身体障害 (64歳以下)	(N=213) 人と電話やラインなどで話す頻度 (17.8)	趣味や好きなことをする時間 (13.6)
	身体障害 (65歳以上)	(N=237) 人と電話やラインなどで話す頻度 (12.2)	趣味や好きなことをする時間 (3.8)
	知的障害	(N=182) 趣味や好きなことをする時間 (12.6)	人と電話やラインなどで話す頻度 (9.3)
	精神障害	(N=177) 人と電話やラインなどで話す頻度 (17.5)	趣味や好きなことをする時間 (14.1)
	難病	(N=172) 人と電話やラインなどで話す頻度 (13.4)	趣味や好きなことをする時間 (9.9)
障害児保護者	(N=130)	趣味や好きなことをする時間 (16.2)	スポーツ・運動などで体を動かす時間 (3.8) 保護者の休息 (レスパイト) の機会 (3.8)

「減った」こと

- 「減った」ことをみると、市民、身体障害（64歳以下）、身体障害（65歳以上）、知的障害、精神障害、難病は『人と直接会って話す頻度』，高齢者は『体力・筋力』，障害児保護者は『保護者の休息（レスパイト）の機会』となっている。

図表_新型コロナウイルス感染症の流行による暮らしへの影響（％）

<「減った」項目>

		1位	2位
市民	(N=815)	人と直接会って話す頻度 (70.6)	興味や関心のあることに充てる時間 (16.9)
高齢者	(N=1203)	体力・筋力 (50.1)	趣味活動や社会参加の外出の頻度（スポーツ・ボランティア・通いの場など） (47.9)
障害者 (18歳以上)	身体障害（64歳以下）	(N=213) 人と直接会って話す機会の頻度 (61.5)	スポーツ・運動などで体を動かす時間 (34.3)
	身体障害（65歳以上）	(N=237) 人と直接会って話す機会の頻度 (58.2)	人と電話やラインなどで話す頻度 (30.8)
	知的障害	(N=182) 人と直接会って話す機会の頻度 (41.8)	仕事や通所以外での外出回数 (34.1)
	精神障害	(N=177) 人と直接会って話す機会の頻度 (55.9)	仕事や通所以外での外出回数 (40.1)
	難病	(N=172) 人と直接会って話す機会の頻度 (62.2)	仕事や通所以外での外出回数 (31.4) スポーツ・運動などで体を動かす時間 (31.4)
障害児保護者	(N=130)	保護者の休息（レスパイト）の機会 (48.5)	スポーツ・運動などで体を動かす時間 (44.6)

4 相談支援

①困ったときの身近な相談相手（人・機関）

【市民，高齢者，障害者（18歳以上），障害児保護者】

日常生活での困りごとを相談できる人や機関はありますか。（いくつでも○）

- 困ったときの身近な相談相手（人・機関）は，市民，高齢者ともに「同居の家族」，身体障害（64歳以下），身体障害（65歳以上），知的障害，精神障害，難病，障害児保護者ともに「家族・親族（一緒に住んでいる・離れて住んでいる）」が多くなっている。
- 一方，「身近に相談できる人や機関はない」または「相談する人がいない」は，市民，高齢者，身体障害（64歳以下），身体障害（65歳以上），知的障害，難病，障害児保護者で2～8%台となっているが，精神障害は10.2%と多くなっている。

図表_困ったときの身近な相談相手（人・機関）（%）

		1位	特定項目
市民	(N=815)	同居の家族 (65.8)	身近に相談できる人や機関はない (4.8)
高齢者	(N=1203)	同居の家族 (64.9)	身近に相談できる人や機関はない (4.8)
障害者 (18歳以上)	身体障害 (64歳以下) (N=213)	家族・親族 (一緒に住んでいる・離れて住んでいる) (67.1)	相談する人がいない (8.0)
	身体障害 (65歳以上) (N=237)	家族・親族 (一緒に住んでいる・離れて住んでいる) (66.2)	相談する人がいない (4.2)
	知的障害 (N=182)	家族・親族 (一緒に住んでいる・離れて住んでいる) (65.9)	相談する人がいない (2.2)
	精神障害 (N=177)	家族・親族 (一緒に住んでいる・離れて住んでいる) (61.0)	相談する人がいない (10.2)
	難病 (N=172)	家族・親族 (一緒に住んでいる・離れて住んでいる) (69.8)	相談する人がいない (4.7)
障害児保護者	(N=130)	家族・親族 (一緒に住んでいる・離れて住んでいる) (80.0)	相談する人がいない (6.2)

②医療機関（歯科を含む）の受診で困ること

【障害者（18歳以上），障害児保護者】

あなたは、医療機関（歯科を含む）の受診で困ることはありますか。（いくつでも○）

- 医療機関（歯科を含む）の受診で困ることは、身体障害（64歳以下），身体障害（65歳以上），知的障害，精神障害，難病，障害児保護者ともに「特にない」が最も多くなっている。
- 困っていることは、身体障害（64歳以下），身体障害（65歳以上），精神障害，難病，障害児保護者ともに「医療費や交通費の負担が大きい」ことを挙げている。知的障害では「医師・歯科医師とコミュニケーションがとりづらい」ことを挙げている。

図表 医療機関（歯科を含む）の受診で困ること（％）

		かかりつけ医（日常的に健康について相談できる医療機関）がない	かかりつけ歯科医（歯の健康や治療について相談できる歯科医）がない	定期的な健康診断を受けられない	定期的な歯科健診を受けられない	近似的な治療やリハビリを行う医療機関がない	障害を理由に診療や健診などを断られたことがある	通院するときに介助してくれる人がいない	医療費や交通費の負担が大きい	医師・歯科医師とコミュニケーションがとりづらい	その他	特にない	無回答
障害者 (18歳以上)	身体障害（64歳以下） (N=213)	9.4	4.7	3.3	2.8	9.9	2.8	5.6	16.0	8.0	8.0	46.0	7.5
	身体障害（65歳以上） (N=237)	6.3	6.8	2.5	2.5	4.2	1.3	3.0	9.7	4.6	3.0	57.8	13.1
	知的障害 (N=182)	9.9	9.9	7.1	5.5	5.5	2.2	3.8	9.9	13.7	6.6	51.6	13.2
	精神障害 (N=177)	7.3	9.0	8.5	6.2	6.8	1.7	5.1	18.6	9.0	10.7	44.6	13.6
	難病 (N=172)	5.2	5.8	0.6	2.3	4.1	0.6	1.7	20.3	2.3	4.7	55.2	11.6
障害児保護者 (N=130)		6.9	10.8	3.1	4.6	15.4	7.7	5.4	16.2	8.5	11.5	40.8	6.9

③財産の管理や身の回りの手続きなどが必要となった場合の支援者

【市民，高齢者】

ご自身の判断能力が低下し，財産の管理や身の回りの手続きなどに支援が必要となった場合，誰に支援をしてほしいですか。（2つまで○）

- 財産の管理や身の回りの手続きなどが必要となった場合の支援者は，市民，高齢者ともに「家族・親族」が最も多く，8割を超える。
- それに続く「成年後見人（弁護士・司法書士・社会福祉士など）」は1割台から2割台となっている。

図表_財産の管理や身の回りの手続きなどが必要となった場合の支援者（%）

	家族・親族	友人・知人	成年後見人（弁護士・司法書士・社会福祉士など）	市民後見人	その他	わからない	無回答
市民 (N=815)	86.7	8.3	22.9	2.1	1.0	7.2	2.0
高齢者 (N=1203)	89.4	4.0	14.6	2.4	0.5	6.1	3.6

④今後の居住形態の意向

【障害者（18歳以上），障害児保護者】

【障害者（18歳以上）】今後、どのように生活したいですか。（1つに○）

【障害児保護者】将来、あて名のお子さんに、どのような生活を希望しますか。（1つに○）

- 今後の居住形態の意向について、身体障害（64歳以下），身体障害（65歳以上），精神障害，難病は「ひとり暮らし，または自分の配偶者と一緒に生活する」が最も多くなっている。障害児保護者が希望するお子さんの暮らし方も「ひとり暮らし，または本人の配偶者と一緒に生活する」が最も多くなっている。
- 知的障害は「親や兄弟などの家族と一緒に生活する」が最も多い。また，「グループホームで生活する」が2割近くとなっている。

図表_今後の居住形態の意向（％）

		親や兄弟などの家族と一緒に生活する※	ひとり暮らし、または自分の配偶者と一緒に生活する※※	グループホームで生活する	入所施設で生活する	その他	わからない	無回答
障害者 (18歳以上)	身体障害（64歳以下） (N=213)	28.2	45.5	4.7	2.8	2.8	14.6	1.4
	身体障害（65歳以上） (N=237)	24.9	43.0	0.4	6.8	2.5	15.6	6.8
	知的障害 (N=182)	34.6	18.1	19.2	5.5	1.6	19.8	1.1
	精神障害 (N=177)	23.2	48.6	1.1	1.1	6.8	15.3	4.0
	難病 (N=172)	25.6	50.0	2.3	1.2	1.2	14.5	5.2
障害児保護者 (N=130)		18.5	45.4	13.1	0.8	3.8	18.5	0.0

※障害児保護者アンケートの選択肢は「親やきょうだい（兄弟・姉妹）などの家族と一緒に生活する」

※※ 同 「ひとり暮らし，または本人の配偶者と一緒に生活する」

5 活動機会、スポーツ

①障害者，障害児の活動機会

【障害者（18歳以上），障害児保護者】

普段の生活の中で，次のような機会がありますか。（それぞれ1つに○）

「十分にある」

- 生活の中の活動機会について，「十分にある」の割合は，身体障害（64歳以下），身体障害（65歳以上），知的障害，精神障害，難病，障害児保護者ともに『好きなところへ出かける（ヘルパー利用も含む）』が最も多くなっている。身体障害（65歳以上）は『友人・知人との交流』も同率である。

図表_生活の中の活動機会の有無（％）

<「十分にある」の割合>

		1位	2位
障害者 (18歳以上)	身体障害（64歳以下） (N=213)	好きなところへ出かける（ヘルパー利用も含む） (52.1)	友人・知人との交流（40.4）
	身体障害（65歳以上） (N=237)	好きなところへ出かける（ヘルパー利用も含む） (31.2)	友人・知人との交流（31.2）
	知的障害 (N=182)	好きなところへ出かける（ヘルパー利用も含む） (44.5)	友人・知人との交流（21.4）
	精神障害 (N=177)	好きなところへ出かける（ヘルパー利用も含む） (39.5)	友人・知人との交流（18.1）
	難病 (N=172)	好きなところへ出かける（ヘルパー利用も含む） (55.2)	友人・知人との交流（43.0）
障害児保護者 (N=130)	好きなところへ出かける（ヘルパー利用も含む） (52.3)	スポーツ・運動をする機会 (24.6)	

「機会はあるが、十分ではない」と「機会がない」の合計

- 生活の中の活動機会について、「機会はあるが、十分ではない」と「機会がない」の合計をみると、身体障害（64歳以下）、知的障害、難病、障害児保護者は『美術・音楽などの文化芸術活動の機会』，身体障害（65歳以上）は『友人・知人との交流』，精神障害は『スポーツ・運動をする機会』が多くなっている。

図表_生活の中の活動機会の有無（％）

<「機会はあるが、十分ではない」と「機会がない」の合計割合>

		1位	2位
障害者 (18歳以上)	身体障害（64歳以下） (N=213)	美術・音楽などの文化芸術活動の機会（53.5）	ウ、工以外の趣味や習いごと（52.6）
	身体障害（65歳以上） (N=237)	友人・知人との交流（39.7）	美術・音楽などの文化芸術活動の機会（38.8）
	知的障害 (N=182)	美術・音楽などの文化芸術活動の機会（54.9）	スポーツ・運動をする機会（53.8）
	精神障害 (N=177)	スポーツ・運動をする機会（63.3）	美術・音楽などの文化芸術活動の機会（59.8）
	難病 (N=172)	美術・音楽などの文化芸術活動の機会（47.7）	スポーツ・運動をする機会（45.9）
障害児保護者 (N=130)	美術・音楽などの文化芸術活動の機会（74.6）	友人・知人との交流（71.6）	

②スポーツ活動・運動をする頻度

【障害者（18歳以上），障害児保護者】

スポーツ・運動をする機会はどのくらいありますか。（1つに○）

- スポーツ活動・運動をする頻度は，身体障害（64歳以下），身体障害（65歳以上），知的障害，精神障害，難病は「ほとんどしない」が最も多くなっている。
- 障害児保護者は「週に2回以上」が最も多くなっている。

図表_スポーツ活動・運動をする頻度（％）

		週に2回以上	週に1回程度	月に1、2回程度	ほとんどしない	無回答
障害者 (18歳以上)	身体障害（64歳以下） (N=213)	23.5	11.7	8.9	53.5	2.3
	身体障害（65歳以上） (N=237)	25.7	14.8	4.2	48.5	6.8
	知的障害 (N=182)	15.9	18.7	10.4	48.9	6.0
	精神障害 (N=177)	15.3	11.9	10.7	58.8	3.4
	難病 (N=172)	20.3	18.0	12.2	47.1	2.3
障害児保護者 (N=130)		33.8	28.5	13.1	23.8	0.8

6 暮らしやすさ、ともに生きる社会への意識

①市内のバリアフリーの状況

【市民，高齢者，障害者（18歳以上），障害児保護者】

市内のバリアフリーについて、どのように感じていますか。（それぞれ1つに○）

『充実している』の割合

- 市内のバリアフリー化の状況について、「とても充実している」と「充実している」を合わせた『充実している』の割合をみると、市民，高齢者，身体障害（64歳以下），身体障害（65歳以上），知的障害，精神障害，難病，障害児保護者ともに『公共施設や病院などのスロープ，エレベーターやエスカレーター』が最も多くなっている。

図表_市内のバリアフリー化の状況（％）

<『充実している』の割合>

		1位	2位	
市民	(N=815)	公共施設や病院などのスロープ，エレベーターやエスカレーター（43.4）	車いすの方や乳幼児を連れた方など，誰もが使いやすいトイレ（33.7）	
高齢者	(N=1203)	公共施設や病院などのスロープ，エレベーターやエスカレーター（37.7）	車いすの方や乳幼児を連れた方など，誰もが使いやすいトイレ（23.9）	
障害者 (18歳以上)	身体障害（64歳以下）	(N=213)	公共施設や病院などのスロープ，エレベーターやエスカレーター（40.8）	車いすの人や乳幼児を連れた人，介助者の同伴が必要な人など，誰もが使いやすいトイレ（22.1）
	身体障害（65歳以上）	(N=237)	公共施設や病院などのスロープ，エレベーターやエスカレーター（37.6）	車いすの人や乳幼児を連れた人，介助者の同伴が必要な人など，誰もが使いやすいトイレ（18.6）
	知的障害	(N=182)	公共施設や病院などのスロープ，エレベーターやエスカレーター（39.5）	車いすの人や乳幼児を連れた人，介助者の同伴が必要な人など，誰もが使いやすいトイレ（28.5）
	精神障害	(N=177)	公共施設や病院などのスロープ，エレベーターやエスカレーター（37.9）	車いすの人や乳幼児を連れた人，介助者の同伴が必要な人など，誰もが使いやすいトイレ（27.1）
	難病	(N=172)	公共施設や病院などのスロープ，エレベーターやエスカレーター（34.8）	車いすの人や乳幼児を連れた人，介助者の同伴が必要な人など，誰もが使いやすいトイレ（23.9）
障害児保護者	(N=130)	公共施設や病院などのスロープ，エレベーターやエスカレーター（50.7）	車いすの人や乳幼児を連れた人，介助者の同伴が必要な人など，誰もが使いやすいトイレ（41.6）	

『充実していない』の割合

- 市内のバリアフリー化の状況について、「あまり充実していない」と「充実していない」を合わせた『充実していない』の割合をみると、市民、高齢者、身体障害（64歳以下）、身体障害（65歳以上）、知的障害、精神障害、難病、障害児保護者ともに『歩きやすいように障害物が取り除かれ、段差や凹凸が少なく、十分に幅のある歩道や道路』が最も多くなっている。

図表_市内のバリアフリー化の状況（％）

<『充実していない』の割合>

		1位	2位	
市民	(N=815)	歩きやすいように障害物が取り除かれ、段差や凹凸が少なく、十分に幅のある歩道や道路（69.7）	車いすの人や誰もが安全に通れる建物の出入口や通路（52.8）	
高齢者	(N=1203)	歩きやすいように障害物が取り除かれ、段差や凹凸が少なく、十分に幅のある歩道や道路（63.2）	車いすの人や誰もが安全に通れる建物の出入口や通路（46.3）	
障害者 (18歳以上)	身体障害（64歳以下）	(N=213)	歩きやすいように障害物が取り除かれ、段差や凹凸が少なく十分に幅のある歩道や道路（61.5）	車いすの人や誰もが安全に通れる建物の出入口や通路（46.5）
	身体障害（65歳以上）	(N=237)	歩きやすいように障害物が取り除かれ、段差や凹凸が少なく十分に幅のある歩道や道路（56.9）	車いすの人や誰もが安全に通れる建物の出入口や通路（40.9）
	知的障害	(N=182)	歩きやすいように障害物が取り除かれ、段差や凹凸が少なく十分に幅のある歩道や道路（46.7）	高齢者、子ども連れの家 族、障害や病気などがある 人に対する人々の接し方や 配慮（34.6）
	精神障害	(N=177)	歩きやすいように障害物が取り除かれ、段差や凹凸が少なく十分に幅のある歩道や道路（49.1）	高齢者、子ども連れの家 族、障害や病気などがある 人に対する人々の接し方や 配慮（36.7）
	難病	(N=172)	歩きやすいように障害物が取り除かれ、段差や凹凸が少なく十分に幅のある歩道や道路（54.0）	車いすの人や誰もが安全に通れる建物の出入口や通路（44.8）
障害児保護者	(N=130)	歩きやすいように障害物が取り除かれ、段差や凹凸が少なく十分に幅のある歩道や道路（57.6）	高齢者、子ども連れの家 族、障害や病気などがある 人に対する人々の接し方や 配慮（43.1）	

②障害や病気への差別や偏見，配慮のなさを感じる場面

【障害者（18歳以上），障害児保護者】

普段の暮らしや外出のとき，障害や病気への差別や偏見，配慮のなさを感じる場面はありますか。（いくつでも○）

- 障害や病気への差別や偏見，配慮のなさを感じる場面は，身体障害（64歳以下）は「交通機関や建物のつくりの配慮」，身体障害（65歳以上）と難病は「特に感じない」，知的障害は「まちなかでの人の視線」，精神障害は「仕事や収入」，障害児保護者は「教育・保育の機会」が最も多くなっている。

図表_障害や病気への差別や偏見，配慮のなさを感じる場面（％）

		教育の機会※	仕事や収入	民間の習いごと・教室	近所付き合いや地域の行事・活動	店での扱いや店員の対応・態度	まちなかでの人の視線	交通機関や建物のつくりの配慮	行政職員の対応・態度	その他	特に感じない	無回答
障害者 (18歳以上)	身体障害（64歳以下）（N=213）	8.9	23.0	-	4.7	16.9	23.0	29.1	9.9	8.5	28.6	7.5
	身体障害（65歳以上）（N=237）	3.0	4.2	-	4.6	8.4	6.3	19.0	5.1	2.1	53.2	16.5
	知的障害（N=182）	15.9	29.7	-	15.4	14.8	32.4	11.0	8.2	1.6	29.7	13.7
	精神障害（N=177）	10.2	37.9	-	11.9	13.0	17.5	15.3	8.5	6.8	29.4	11.9
	難病（N=172）	5.8	11.6	-	4.7	6.4	9.3	19.8	5.8	2.9	47.7	17.4
障害児保護者	（N=130）	50.8	-	39.2	16.9	10.0	34.6	19.2	6.9	6.9	19.2	2.3

※障害児保護者アンケートの選択肢は「教育・保育の機会」

③心のバリアフリーの普及に必要な取組

【市民，障害者（18歳以上），障害児保護者】

誰もが暮らしやすいまちづくりに向けて，病気・障害・国籍・生活習慣などの違いによる心理的な障壁を取り除く（心のバリアフリー）ために，特に必要な取組は何だと思えますか。（2つまで○）

- 心のバリアフリーの普及に必要な取組は，市民，身体障害（64歳以下），身体障害（65歳以上），知的障害，精神障害，難病，障害児保護者ともに「学校において，お互いを理解し，思いやる心を醸成するための教育」もしくは「学校における，お互いを理解し，思いやる心を育てるための教育や，障害者などさまざまな人と触れ合う機会の充実」が最も多くなっている。

図表 心のバリアフリーの普及に必要な取組（％）

		1位	2位
市民	(N=815)	学校において，お互いを理解し，思いやる心を醸成するための教育（58.3）	わかりやすい，使いやすい情報の提供（52.4）
障害者 (18歳以上)	身体障害（64歳以下）	(N=213) 学校における，お互いを理解し，思いやる心を育てるための教育や，障害者などさまざまな人と触れ合う機会の充実（52.6）	わかりやすい情報発信（37.6）
	身体障害（65歳以上）	(N=237) 学校における，お互いを理解し，思いやる心を育てるための教育や，障害者などさまざまな人と触れ合う機会の充実（40.1）	わかりやすい情報発信（34.6）
	知的障害	(N=182) 学校における，お互いを理解し，思いやる心を育てるための教育や，障害者などさまざまな人と触れ合う機会の充実（44.0）	わかりやすい情報発信（29.7）
	精神障害	(N=177) 学校における，お互いを理解し，思いやる心を育てるための教育や，障害者などさまざまな人と触れ合う機会の充実（49.7）	わかりやすい情報発信（40.7）
	難病	(N=172) 学校における，お互いを理解し，思いやる心を育てるための教育や，障害者などさまざまな人と触れ合う機会の充実（48.3）	わかりやすい情報発信（41.9）
障害児保護者	(N=130)	学校における，お互いを理解し，思いやる心を育てるための教育や，障害者などさまざまな人と触れ合う機会の充実（71.5）	わかりやすい情報発信（46.2）

④ともに生きる社会をめざす法律や取組の認知度

【障害者（18歳以上），障害児保護者】

お互いにその人らしさを認め合い，ともに生きる社会をめざす法律や取組をご存知ですか。（それぞれ1つに○）

- 障害者差別解消法の認知度について，身体障害（64歳以下），身体障害（65歳以上），知的障害，精神障害，難病ともに「知らない」が最も多くなっている。一方，障害児保護者は「聞いたことはある（内容は知らない）」が最も多くなっている。

図表_障害者差別解消法についての認知度（%）

		内容を 知っ てい る	（聞 いた こと は知 らな い）	知 ら な い	無 回 答
障害者 (18歳以上)	身体障害（64歳以下） (N=213)	17.4	35.2	45.1	2.3
	身体障害（65歳以上） (N=237)	8.4	24.5	52.3	14.8
	知的障害 (N=182)	9.9	24.7	52.7	12.6
	精神障害 (N=177)	10.2	31.1	52.5	6.2
	難病 (N=172)	12.2	23.8	55.2	8.7
障害児保護者 (N=130)	33.1	34.6	30.8	1.5	

- 合理的配慮の認知度について，身体障害（64歳以下），身体障害（65歳以上），知的障害，精神障害，難病ともに「知らない」が最も多くなっている。一方，障害児保護者は「内容を知っている」が3割を超えて最も多くなっている。

図表_合理的配慮についての認知度（%）

		内容 を知 っ て い る	（聞 いた こと は知 らな い）	知 ら な い	無 回 答
障害者 (18歳以上)	身体障害（64歳以下） (N=213)	14.6	29.1	53.1	3.3
	身体障害（65歳以上） (N=237)	4.6	19.0	59.5	16.9
	知的障害 (N=182)	8.2	18.1	60.4	13.2
	精神障害 (N=177)	11.3	27.1	53.7	7.9
	難病 (N=172)	9.9	25.6	55.8	8.7
障害児保護者 (N=130)	37.7	30.8	30.0	1.5	

⑤ヘルプカード、ヘルプマーク

【障害者（18歳以上），障害児保護者】

調布市が配布しているヘルプカード、ヘルプマークをもちえていますか。
（それぞれ1つに○）

- ヘルプカードの所持について、「もっていて、いつも、もち歩いている」割合をみると、身体障害（64歳以下），身体障害（65歳以上），知的障害，精神障害，障害児保護者は1割台であり，難病は1割未満となっている。

図表_ヘルプカードの所持（%）

		歩も いつ ていて いる、 いつ も、 もち	いも なつ てい るが、 もち 歩いて	思も うつ てい ないが、 ほし いと	も つ てい ないし、 必要 ない	無 回 答
障害者 (18歳以上)	身体障害（64歳以下） (N=213)	15.5	31.9	14.1	31.9	6.6
	身体障害（65歳以上） (N=237)	17.7	20.7	14.3	30.4	16.9
	知的障害 (N=182)	19.8	27.5	11.5	26.9	14.3
	精神障害 (N=177)	11.9	25.4	17.5	36.7	8.5
	難病 (N=172)	4.1	2.3	15.1	66.3	12.2
障害児保護者 (N=130)		11.5	26.2	20.8	38.5	3.1

- ヘルプマークの所持について、「もっていて、いつも、もち歩いている」割合をみると、身体障害（64歳以下）と障害児保護者は2割台，身体障害（65歳以上），知的障害，精神障害は1割台である。難病は1割未満となっている。

図表_ヘルプマークの所持（%）

		歩も いつ ていて いる、 いつ も、 もち	いも なつ てい るが、 もち 歩いて	思も うつ てい ないが、 ほし いと	も つ てい ないし、 必要 ない	無 回 答
障害者 (18歳以上)	身体障害（64歳以下） (N=213)	21.1	21.6	15.0	35.7	6.6
	身体障害（65歳以上） (N=237)	12.2	14.8	19.8	32.1	21.1
	知的障害 (N=182)	12.6	15.9	20.9	32.4	18.1
	精神障害 (N=177)	10.2	14.1	19.2	42.4	14.1
	難病 (N=172)	7.6	2.3	16.3	62.8	11.0
障害児保護者 (N=130)		21.5	15.4	24.6	36.2	2.3

ヘルプカードやヘルプマークをもっていることで、周囲の人に配慮してもらったり、手助けをしてもらったりしたことがありますか。(1つに○)

- ヘルプカードを「もっていて、いつも、もち歩いている」と回答した人が実感する効果について、「ある」の割合をみると、身体障害（64歳以下）と精神障害は4割前後となっている。身体障害（65歳以上）と知的障害は2割台、難病は1割台となっている。
- 障害児保護者の「ある」の割合をみると、ヘルプカード所有者は1割未満となっている。

図表_ヘルプカードの効果の実感(%)

		ある	ない	・も わっ かて らい ない いい	無 回 答
障害者 (18歳以上)	身体障害（64歳以下） (n=33)	39.4	45.5	12.1	3.0
	身体障害（65歳以上） (n=42)	28.6	66.7	4.8	0.0
	知的障害 (n=36)	25.0	58.3	13.9	2.8
	精神障害 (n=21)	42.9	42.9	4.8	9.5
	難病 (n=7)	14.3	85.7	0.0	0.0
障害児保護者	ヘルプカード所持者 (n=15)	6.7	93.3	0.0	0.0

- ヘルプマークを「もっていて、いつも、もち歩いている」と回答した人が実感する効果について、「ある」の割合をみると、身体障害（64歳以下），身体障害（65歳以上），知的障害は4割を超え，精神障害は7割を超えている。難病は3割台となっている。
- 障害児保護者の「ある」の割合をみると，ヘルプマーク所有者は3割近くとなっている。

図表_ヘルプマークの効果の実感(%)

		ある	ない	・も わっ かて らい ない いい	無 回 答
障害者 (18歳以上)	身体障害（64歳以下） (n=45)	51.1	44.4	2.2	2.2
	身体障害（65歳以上） (n=29)	44.8	51.7	0.0	3.4
	知的障害 (n=23)	52.2	30.4	17.4	0.0
	精神障害 (n=18)	72.2	22.2	0.0	5.6
	難病 (n=13)	30.8	69.2	0.0	0.0
障害児保護者	ヘルプマーク所持者 (n=28)	28.6	71.4	0.0	0.0

7 デジタルの活用

①市の保健福祉情報の情報入手先

【市民，障害者（18歳以上），障害児保護者】

調布市の保健福祉施策（サービス）に関する情報をどこから入手していますか。
（いくつでも○）

- 市の保健福祉施策（サービス）に関する情報の入手先は，市民，身体障害（64歳以下），精神障害，難病，障害児保護者ともに「市の広報紙・チラシ」が最も多く，次いで「市のホームページ」となっている。
- 身体障害（65歳以上），知的障害は「市の広報紙・チラシ」が最も多く，次いで「特にない，情報は入手していない」となっている。

図表_市の保健福祉施策（サービス）に関する情報の主な入手先（％）

		市のホームページ	市の広報紙・チラシ	市役所・相談機関などの窓口	テレビオビ（ケーブルテレビを含む）	家族，友人・知人からの口コミ	SNS	その他	特にない，情報は入手していない	無回答
市民 (N=815)		32.0	61.7	3.2	4.4	12.5	8.0	0.5	20.9	1.7
障害者 (18歳以上)	身体障害（64歳以下） (N=213)	37.1	46.5	17.4	3.8	12.7	8.9	3.8	21.6	3.8
	身体障害（65歳以上） (N=237)	18.6	49.4	11.4	1.3	16.5	2.1	1.3	26.2	10.1
	知的障害 (N=182)	13.7	36.3	11.0	4.9	22.5	4.9	2.2	29.1	12.1
	精神障害 (N=177)	26.0	45.8	27.1	5.6	11.9	6.8	4.5	22.6	6.2
	難病 (N=172)	37.2	49.4	7.0	4.1	9.3	10.5	0.6	17.4	7.6
障害児保護者 (N=130)		50.8	56.9	16.2	3.1	29.2	14.6	5.4	7.7	0.8

②講座やイベントのオンライン開催への意向

【市民，障害者（18歳以上），障害児保護者】

市や社会福祉協議会の講座やイベントがオンライン開催（インターネットを介して参加する方法）されたら，参加しやすくなりますか。（1つに○）

- 市や社会福祉協議会の講座やイベントのオンライン開催について，市民，身体障害（64歳以下），精神障害，難病で「参加しやすくなる」が2割を超えており，障害児保護者は約5割と多くなっている。身体障害（65歳以上）と知的障害は1割台にとどまる。

図表_市や社会福祉協議会の講座やイベントのオンライン開催への意向（％）

		参加しやすくなる	変わらない	参加しづらくなる	無回答
市民 (N=815)		32.1	57.7	7.0	3.2
障害者 (18歳以上)	身体障害（64歳以下） (N=213)	28.6	57.3	6.1	8.0
	身体障害（65歳以上） (N=237)	14.3	52.7	11.8	21.1
	知的障害 (N=182)	11.5	57.1	14.8	16.5
	精神障害 (N=177)	30.5	52.5	6.8	10.2
	難病 (N=172)	27.3	53.5	3.5	15.7
障害児保護者 (N=130)		49.2	46.9	3.1	0.8

8 災害時の対策

①避難場所・避難経路・警戒区域などの確認状況

【高齢者，障害者（18歳以上），障害児保護者】

防災マップ・洪水ハザードマップなどで避難場所・避難経路・警戒区域などを確認していますか。（1つに○）

- 避難場所・避難経路・警戒区域などの確認状況について、「確認している」割合は、高齢者と難病は7割，身体障害（64歳以下）と身体障害（65歳以上）は6割，障害児保護者は8割を超えている。
- 知的障害，精神障害は「確認していない」の割合が5割前後と多くなっている。

図表_避難場所・避難経路・警戒区域などの確認（%）

		確認している	確認していない	無回答	
高齢者	(N=1203)	71.8	24.3	3.9	
障害者 (18歳以上)	身体障害（64歳以下）	(N=213)	63.8	33.3	2.8
	身体障害（65歳以上）	(N=237)	66.7	30.4	3.0
	知的障害	(N=182)	45.6	50.5	3.8
	精神障害	(N=177)	45.8	47.5	6.8
	難病	(N=172)	74.4	20.9	4.7
障害児保護者	(N=130)	84.6	13.8	1.5	

②緊急時の避難情報の入手先

【高齢者，障害者（18歳以上），障害児保護者】

災害や火災などの緊急の際，避難情報を主にどこからとりますか。（いくつでも○）

- 緊急時の避難情報の入手先は，高齢者，難病，障害児保護者は「調布市防災・安全情報メール」，身体障害（64歳以下）は「SNS（市の公式アカウントを含む）」が最も多くなっている。
- 一方，身体障害（65歳以上），知的障害，精神障害は「わからない」が最も多く，2割を超えている。

図表_緊急時の避難情報の入手先（％）

		防災行政無線	調布市防災・安全情報メール	調布FM	市ホームページ	ケーブルテレビ	SNS（市の公式アカウントを含む）	その他	わからない	無回答	
高齢者	(N=1203)	33.8	36.7	6.2	18.2	13.1	11.9	4.5	18.0	7.0	
障害者 (18歳以上)	身体障害（64歳以下）	(N=213)	7.0	17.4	1.4	12.2	7.5	24.9	7.5	17.4	4.7
	身体障害（65歳以上）	(N=237)	18.6	18.6	0.8	7.6	9.3	6.3	5.5	24.1	9.3
	知的障害	(N=182)	6.6	19.2	2.7	2.7	7.7	16.5	3.8	36.3	4.4
	精神障害	(N=177)	9.0	10.7	2.3	11.3	5.1	23.2	6.8	25.4	6.2
	難病	(N=172)	12.2	22.7	2.9	9.3	4.7	21.5	4.1	13.4	9.3
障害児保護者	(N=130)	6.2	53.8	0.0	10.8	1.5	19.2	1.5	4.6	2.3	